

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉総論Ⅷ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	諸山 碧葉	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
「認定カウンセラー1級」試験合格を目指し、カウンセリングの基礎知識だけでなく理論、アセスメント等応用部分について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70%、出席評価点20%、平常評価点(レポート、授業態度、ノート等)10%とし、優80点以上、良70点～79点、可60点～69点、不可59点以下と評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「認定カウンセラー1級2級公式テキスト」						
《授業外における学習方法》						
教科書の復習、過去問を解いて理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》						
退陣援助に必要であるカウンセラーの基礎知識、基礎態度を身につけていると証明できるよう、全員合格を目指す。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問を通して復習、苦手分野を理解し説明できるようになる。	教科書	昨年学んだことを振り返っておく	
		各コマにおける授業予定	昨年の過去問題に取り組む			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	定義、歴史、流れについて理解し説明できるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	復習プリントにより、定義、歴史、カウンセリングの流れについて理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	技法について理解し説明できるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	カウンセリング技法を完全に理解し、実際にどう使えるか考える			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリング理論の理解し説明できるようになる。①	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	カウンセリング理論それぞれの違い、実際にどのように使用されるのか考える			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリング理論の理解し説明できるようになる②	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	カウンセリング理論それぞれの違い、実際にどのように使用されるのか考える			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理アセスメントの理解し説明できるようになる①	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	アセスメントとその方法について復習プリントによって理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理アセスメントの理解し説明できるようになる②	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	それぞれのアセスメント方法が実際にどのようなものか理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の問題を理解し説明できるようになる	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	様々な心の問題の詳細な部分まで理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問による復習と説明ができるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	過去問を解き、自分がどこまで理解しているか確認。試験に挑む。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問による復習と説明ができるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	過去問を解き、自分がどこまで理解しているか確認。試験に挑む。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問による復習と説明ができるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	過去問を解き、自分がどこまで理解しているか確認。試験に挑む。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問による復習と説明ができるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	過去問を解き、自分がどこまで理解しているか確認。試験に挑む。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問による復習と説明ができるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	過去問を解き、自分がどこまで理解しているか確認。試験に挑む。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問による復習と説明ができるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	過去問を解き、自分がどこまで理解しているか確認。試験に挑む。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問による復習と説明ができるようになる。	教科書	教科書の該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	過去問を解き、自分がどこまで理解しているか確認。試験に挑む。		